

令和6年度 第2回上溝高等学校運営協議会 議事概要

令和6年11月21日(木) 15:00~16:30

場所：上溝高等学校 会議室

学校運営協議会委員 9名(敬称略)

会長	小泉 力也	上溝高等学校第29代校長
副会長	内田 勝久	上溝高等学校 校長
委員	横山 恵史	相模市立上溝中学校校長(欠席)
委員	宮崎 孝一	本校PTA会長
委員	小山 美代恵	同窓会(鳩友会)会長(欠席)
委員	鈴木 崇之	上溝商店街振興組合理事長
委員	永野 堅次	上溝地区社会福祉協議会会長
委員	倉橋 強治	自治会法人本町自治会長
委員	山口 信郎	神奈川県更生保護協会副理事長

学校職員

内田 勝久	学校長	松岡 潤治	副校長
森 仁	教頭	中尾 一城	事務長
池田 岳史	学務グループ	森信 亮一	地域連携グループ
森下 和彦	生徒活動グループ	木村 信彦	支援相談グループ
丸茂 千秋	キャリアグループ	橋口 圭一郎	学校管理グループ
小笠原 匠	学務グループ(記録)		

1. 授業見学

2. 校長挨拶(資料「校長あいさつ」をもとに)

(1) 授業力向上を意識した学校の取り組み

- ・教職員に、わかりやすい授業を心がけるようにさせている。
- ・1人1台端末等ICT利活用も進めている。また2026年4月に電子黒板を導入予定
- ・令和6年度優秀授業実践教員表彰にて県内41名が表彰され、本校では数学科の教諭と、地歴公民科の総括教諭が表彰された。
- ・生徒を褒めて育てたい。自己肯定感や自己効用感を育てたい。

(2) 地域との連携

- ・「上高にはもっと地域のイベント等に来てもらいたい」とイルミネーションのイベントでお話を伺う等、地域との連携を一層厚くしたいと感じていた。
- ・今年度はまちづくり会議の構成員となり、地域のこども食堂、ふらっと上溝のボランティアに加え、資料の9つのイベントに参加した。上溝かるたには放送部が参加。部員が札を読む際にも、地域の方に一層聞き取りやすい読み方を教わる等、生徒にもとてもよい経験になった。上溝夏祭りにて、上高の部活動生徒が発表。本校文化祭では地元の焼肉店にご出店も頂いた。また、バーコード決済PayPayも導入。来年には地域の「サンマまつり」も上高文化祭に参加してほしい。上溝さくら公園の草むしりに、校長と教頭が参加して体を動かす等、直接お顔を見て様々な活動を通じた交流も盛んになってきている。
- ・1学年”総合的な探究の時間”で、地域探求「上溝の魅力を発信する活動」を行った。代表者は12月末相模原地区の探究学習発表会に参加予定。

3. 委員および関係職員の自己紹介

4. 学校評価部会（学校運営に係る報告 令和6年度学校評価中間報告について）

○教育課程・学習指導（1-①②）について（資料3）（学務グループ）

- ・令和4年度より学習評価指定校となり、公開研究授業等を通して授業改善を行っている。
 - ・達成状況把握のため、生徒による授業評価アンケートを行った。
- 重要な第4観点が0.8ポイント減。原因として、今年度からアンケートを紙媒体ではなく GoogleForms で実施したことによるアンケート様式(回答項目の配置)が考えられる。
- ・公開研究授業を10月21日に実施(資料4,5)。さらに準備として、9月24日に各教科での研究協議を行い、「主体的に学習に取り組む態度」をどう見取るか職員間で共有した。
 - ・指定校事業を通して、教師の自己調整スキル向上や、生徒への声掛けの変化を実感している。また、ICTも多く授業で取り入れられている等、授業の改善を実感している。
 - ・教育課程編成を生徒の実態に合わせて変更を検討している。令和8年度施行を目指し、どのような課程が生徒に最適化考えながら、協議を進めている。

○生徒指導・支援（2-①）について（生徒活動グループ）

（1）部活動

- ・部活動、委員会等についてHPで発信しており、宣伝を強化している。
- ・上溝高校掲示板を校内に設置し、各部活動等の取り組みや応援を共有している。
- ・部活動加入率は、昨年の59%から63%に上昇。1学年教員の声かけ等や、部活動顧問も部活動づくりに力を入れた結果、非常に活気づいたと感じている。

（2）生徒会活動

- ・生徒総会の場において、委員会報告の場を設ける計画をしている。
- ・生徒会本部役員の取組：昨年は広報に欠員がある等役員人数が少ないことが課題だったが、今年は1年教員の声掛け等で、昨年度の倍の人数を確保。決選投票による選出や執行役員等、人員が充実した。
- ・神奈川ハイスクール議会→現生徒会長が参加し、県議会でも高校生として政策提言を行った。
- ・神奈川県弁護士会相模原支部結成30周年記念行事パネルディスカッション→高校生として生徒の人権について、児童虐待等をテーマに論議した。
- ・上溝ルールメイキングプロジェクト

→校則について生徒と考える活動を主権者教育として実施。第1回で生徒意見集約。今後教員の意見の反映等を行いたい。

- ・文化祭 →今年は1.5日と公開時間増。商店街から焼き肉店様のご出店、PayPay導入等実施

（3）その他

- ・部活動実績、予定

→昨年度より活発になっている。地域連携として、ダンス部が12,2月に上溝のイベントに出演。

軽音楽部＝上溝夏祭り出演。児童文化部＝地元保育園や児童クラブで発表。

- ・上溝イルミネーションのポスター案について→公民館の依頼、本校生徒がデザイン作成。現在校正中。

○生徒指導・支援（2-②）について（支援相談グループ）

（1）交通安全指導

- ・毎朝教職員による通用門での登校指導と、月1度上溝本町のT字路にて交通安全指導
- ・相模原交通安全デー(資料10)：警察等と協力し周辺危険箇所交通指導。5月1回実施(10月雨天中止)
- ・中央区安全まちづくり協議会出席。朝の交通安全指導として上溝交差点周辺、鳩川新橋等交通指導実施
- ・来週にはスケアードストリートも実施予定。・今年度登校時の事故件数が昨年より大幅減少

(2)教育相談体制の充実

- ・週1回のSC、SSWの来校の整備。生徒、保護者含め利用頻度増加
- ・利用の昨年度(年間)と今年度(本日まで)を比較、SC 50件から85件・SSW56件から63件と上昇傾向
- ・SC、SSW相談の周知徹底による有効活用を実感
- ・サポートドック:教員から積極的に生徒の悩み等をケアするためアンケートを実施。スクリーニング会議でアンケートを検討し、SSWへの接続も実行。第2回スクリーニング会議を昨日実施し、近日中に生徒と面談を実施予定(資料18)

○進路指導・支援(3-①②)についての説明(キャリアグループ)

(1)年金教室

- ・年金教室を実施。20歳の手続き、万が一の際の年金の扶助制度を学んだ。生徒からも好評を得た
- ・相模原年金事務所による高校への講演は本校ともう一校の2校で実施

(2)英語検定(資料11)

- ・2年生対象に英検の準2級(高校中級程度)、2級の取得試験を実施
- ・今年は実施3年目で26名が2級受験。1年目の受験者6人から大幅増加
- ・準2級95名が1次通過し最多。定期試験で対策のライティング実施。テストでの評価基準提示も奏功

(3)進路状況(資料12)

- ・「複数上級学校を複数回見学」を指導
- ・指定校推薦、公募推薦での大学、専門学校合格者、受験者がこの時期に出てきている。
- ・現在公立大学1次合格者有り。今年は教育学部志望者もいる。教員として嬉しい気持ち
- ・現在一般入試の指導を中心に行っている。来春いい報告ができるようにしたい。

○地域等との協働(4-①②)について(地域連携グループ)

(1)学校説明会関係(資料13)

- ・8月1日 相模原市民会館で本校独自の学校説明会実施。500組応募でほぼ満席。資料の通りのアンケート結果(資料13) P24・25 参照

ダンス部、生徒会本部による制服紹介に加え、今年は放送部が司会を進行した。

- ・8月9日 9:00~14:30 公私合同説明会(神奈川総合産業高等学校)
- ・8月2日~7日 校舎見学会 3つの時間帯で実施 1つの時間帯で20名程度➡計236名参加
- ・10月26日 オープンスクール 昨年度は1時間だけだった授業見学を、午前3時間に。予約制 午後は部活動体験と見学を実施。
- ・今年度は説明会の動画をYoutubeに限定公開でアップ
- ・HP更新回数も前年度70回から、今年度上半期50回と活発化

5.地域連携部会

【校内行事】

(ア)上溝小学校との交流会(資料14)

- ・小学4、5、6年生と本校の部活動に所属する生徒による交流
- 一部(野球、バレー、漫研)は小学校へ、残りの部活動は上溝高校に小学校のクラブを招き実施 積極的交流を図ることで学校生活を豊かにする、児童生徒相互の人間関係や経験、視野を広げる。

(イ)福祉委員会の活動

- ・7月 3年生福祉委員 車イス体験を本校で実施(資料15) P28 参照

→障害者への理解、共感力向上、バリアフリー社会の意識向上

12月に2年生はボッチャ（公平性の重要性、多様性の理解）を企画。3月の1年生の企画は検討中
（ウ）全学年の地域貢献活動

・昨年度から実施。内容は近隣の清掃活動（上溝中央公園、学校周辺の清掃）

→3年生9月、1・2年生が10月実施。

環境問題や廃棄物削減の重要性を学び、地域美化と環境の意識が高まり、持続的な環境への配慮を促進
（エ）各部の地域での活動（中間報告）

児童文化部

- ・7月 ひよこ保育園、新宿児童クラブで、パネルシアターや人形劇、手遊び等実施
- ・12月 吹奏楽部とのコラボレーションで上溝児童クラブ公演予定

軽音楽部

- ・7月上溝夏祭りミスタードーナツ前特設ステージでライブ参加。

放送部

- ・11月 ひよこ保育園で開催された上溝かるた大会のかるた読み上げボランティアとして参加
- ・12月 上溝イルミネーション（上溝さくら公園）ではダンス部が参加する予定

→地域との交流、地域文化への貢献、社会性の育成を促進、自己表現と達成感の向上、発表の場を得ること
とで成長を促す

（オ）ボランティア活動

- ・10/5 上溝 秋祭り（通称：サンマ祭り7名参加。本校職員もスタッフとして参加）
- ・10/20 上レクふるさと祭り（16名、上溝小学校 グラウンドゴルフ、体力テストのお手伝い）
- ・11/9 上溝福祉まつり参加（17名 上溝公民館 ワークショップや喫茶、車イス体験等）
- ・毎月末水曜日「上溝にここ食堂」、第3土曜日「駄菓子屋さんボランティア」にて、調理や販売

（カ）その他

7月 上溝公民館夏祭り文化展に川柳出展と1階ロビーに展示。

○学校管理、学校運営（5-①②）について（学校管理グループ）

（1）防災教育教育実施状況（資料16）

- ・10/17 2学期中間試験後第2回避難訓練実施。シェイクアウトから校庭へ避難を7分3秒で完了。生徒が落ち着いて迅速に行動
 - ・11/18にDIG（防災図上訓練）実施。上溝高校周辺地図を用いて、避難場所、危険場所を協議
- 生徒の意見として、「小中学校、公園、避難所が多い」「病院が少ない、2つの川の影響で逃げにくい」等、白地図とインターネットを用いた研究で多くの気づきを得たようであった。

（2）交通安全デー

- ・支援Gの説明を参照。また、PTA広報誌にも組織図を掲載。

（3）地域との連携

- ・文化祭にて、地域のパン屋さんの出店、飲料の販売。
- ・PTA広報冊子は、市内中学校に配布したため、残部がなくコピーであるがご了承ください。

7. 意見交換

- ・地域の繋がりを重視した校長のまちづくり会議出席や、公民館・商店街等各種行事への生徒・職員の参加と、それによる上溝高校の存在感の高まりや生徒の成長への反映等の好転に繋がる流れについて
- ・生徒を褒める、自己肯定感を育てる活動に係る生徒のはつらつとした表情等、様々な変化について

- ・上溝高校PTA活動をととした保護者の子育てに係る充実感と子どもたちとの繋がり等について
- ・PTA活動における教職員の理解と援助の重要性等について
- ・上溝という街の歴史や特色と関わる学校運営等の楽しさや発展性について
- ・上溝高校の施設設備の維持管理に係る姿勢と、校舎等についての評判の高さ等について
- ・上溝高校の授業観察から受けた、協働した学びやICT積極利用による充実した学習活動による生徒の成長への効果、数年間での生徒の授業時の取組み姿勢の変化、教職員の授業改善の成果の現れ等について
- ・同窓会からの学習面での生徒の頑張りへの奨励・支援等について
- ・地域の様々な主体による上溝高校生徒の学習活動・機会の提供及び協働等の一層の推進等について
- ・上溝高校生徒の文化芸術面での学習活動による地域活動への貢献度の高さ等について
- ・上溝高校への地域や中学生及び保護者等を対象にした情報発信に係るSNSとHPのセット利用推進等について
- ・神奈川ハイスクール議会等、県域での上溝高校生学習活動の一層の活性化等について
- ・社会福祉協議会等による地域福祉の推進に係る、充実した上溝高校生のボランティア活動等と、地域の多様な方々との交流や協働による生徒の人間形成機会の充実等について
- ・小中学校でのICT利活用教育を踏まえた上溝高校での指導体制や、不登校生徒に係る柔軟な学び等について
- ・上溝高校立地と人の繋がりを生かす地域との協働による歴史や祭り等伝統的な活動の伝承等について
- ・上溝というまとまりのある地域にあっての生徒の学習面はもとより人間的な成長の向上について
- ・大人の声掛けによる生徒の成長の学習面や人格面での可能性を引き出し支える支援の実践等について
- ・生徒のHRクラスの生活環境面での配慮指導、生徒自身の実践に係る状況や成果の向上等について
- ・電子黒板等今後一層ICT機器を活用した授業づくり・授業改善の画期的推進機会の活用等について
- ・SC・SSWの一層の活用によるヤングケアラー等への組織的な生徒・家庭支援の推進等について
- ・英検等も活用した大学進学に係る上溝高校での学力向上の取組の推進等について

○次回予告

- ・第3回学校運営協議会は3/7（金）に実施予定。

以上